

機側操作盤(選択取水設備)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器 …… ○
- \*2 機能上著しく影響あり …… a  
機能上影響あり …… b  
機能上影響なし …… c
- \*3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触  
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある …… ○
- \*5 点検条件 ……前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う …… ○  
地震時のみ ……(地)  
落雷時のみ ……(雷)  
洪水時のみ ……(洪)
- \*7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- \*8 G:良好あるいは異常なし  
N:異常(要処置(保全整備))  
-:内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	機側操作盤(選択取水設備)		機側操作盤											
設備に要求される機能			水門扉の確実な制御ができること。											
装置区分	点検・整備		点 検 *3							判定方法	判定	備考		
	*1 重要機器	*2 機能に影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		*6 臨時				総 合	
							月点検	年点検						
全 般	b	盤	清掃状態		前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。			
			破損		前	E		E		E	破損がないこと。施設が完全であること。			
			塗装状況		前	E		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部乾燥状態		前	E,H		E,H		E,H	乾燥していること。			
			絶縁抵抗	○	断	M	(雷)	M			絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。			
	a	機器、計器類共通	汚れ		前	E	(地)	(雷)	E	E	汚れがないこと。			
			変色		前	E	(地)	(雷)	E	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断	E,H	(地)	(雷)	E,H	E,H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中	S	(地)	(雷)	S	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地)	(雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前	E		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地)	(雷)	D	異常なく作動すること。		
				異常音		前	S	D,S	(地)	(雷)	D,S	異常音、振動がないこと。		
				接点		前		D,E	(地)	(雷)	D,E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
	○	a	漏電継電器	作動テスト		中	D	D	(地)	(雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				避雷器		前	E	E,H	(地)	(雷)	E,H	正常に点灯すること、ヒューズが溶断していないこと。		
				スペースヒータ(サーモスイッチ)		前	D	D	(地)	(雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。		
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D,S,E	(地)	(雷)	D,S,E	異常音、振動がないこと。		
				異常音		中	S	D,S,H	(地)	(雷)	D,S	異常音がないこと。		
	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地)	(雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			
			設定値確認		前	E	E	(地)	(雷)	E	図面通りの設定値であること。			
a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地)	(雷)	D	テストボタンを押して作動すること。				
タイマー	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地)	(雷)	E	図面通りの設定値であること。			
押釦	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D,E	D,E	(地)	(雷)	D,E	開、閉、停が的確に作動すること。		
表示灯	b	表示灯	ランプテスト		前	D,E	D,E	(地)	(雷)	D,E	点灯すること。			
			盤内蛍光灯	点灯、球切れ		前		D	(地)	(雷)	D	点灯すること。		

機側操作盤(選択取水設備)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器 …… ○
- \*2 機能上著しく影響あり …… a  
機能上影響あり …… b  
機能上影響なし …… c
- \*3 点検 E : 目視、M : 測定、H : 触診・指触  
S : 聴診・聴覚、D : 動作確認、W : 分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある …… ○
- \*5 点検条件 ……前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う …… ○  
地震時のみ ……(地)  
落雷時のみ ……(雷)  
洪水時のみ ……(洪)
- \*7 整備 A : 調整、X : 交換、U : 補給
- \*8 G : 良好あるいは異常なし  
N : 異常(要処置(保全整備))  
- : 内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名	機側操作盤(選択取水設備)		機側操作盤										
設備に要求される機能			水門扉の確実な制御ができること。										
装置区分	点検・整備		点 検 *3							判定方法	*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 機 能 に 対 する 影 響 度	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		*6 不 定 期				
							月 点 検	年 点 検	臨 時				総 合
開 度 指 示 計		b	開度指示計	指示		中		D,E, M	(地)	D,E, M	実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること。セルソン式は発信器の指示値に反応していること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
		b	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		
	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整、スパン調整 および動作確認 (精度確認)		前		D,E, M	(地) (雷)	D,E, M	校正器により測定し、±1.0% F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D,E	(地) (雷)	D,E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
配 線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		端子のゆるみ			断		E,H	(地)	E,H	断線がないこと。ゆるみがないこと。			
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。		
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみがないこと。		
配 管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと。		

機側操作盤(利水放流設備)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器・・・○
- \*2 機能上著しく影響あり・・・a  
機能上影響あり・・・b  
機能上影響なし・・・c
- \*3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触  
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- \*5 点検条件・・・前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う・・・○  
地震時のみ・・・(地)  
落雷時のみ・・・(雷)  
洪水時のみ・・・(洪)
- \*7 整備 A：調整、X：交換、U：補給
- \*8 G：良好あるいは異常なし  
N：異常(要処置(保全整備))  
-：内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		機側操作盤(利水放流設備)				機側操作盤							
設備に要求される機能		水門扉の確実な制御ができること。											
装置区分	点検・整備		項目	内容	点検 *3				判定方法	判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響度に対する			*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期					不定期	
							月点検	年点検				*6 臨時	総合
全般	b	盤	清掃状態		前		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。			
			破損		前		E		E	破損がないこと。施設が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部乾燥状態		前		E,H		E,H	乾燥していること。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。			
	a	機器、計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E,H	(地) (雷)	E,H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。			
開閉器類	○	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。			
			異常音		前	S	D,S	(地) (雷)	D,S	異常音、振動がないこと。			
			接点		前		D,E	(地) (雷)	D,E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
	○	a	漏電継電器	作動テスト		中	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
	b	避雷器	ランプテスト		前	E	E,H	(地) (雷)	E,H	正常に点灯すること。ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ(サーモスイッチ)	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
リレー類	○	補助リレー	作動テスト		中	D	D,S,E	(地) (雷)	D,S,E	異常音、振動がないこと。			
			異常音		中	S	D,S,H	(地) (雷)	D,S	異常音がないこと。			
	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			
			設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。				
タイマー	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
押釦	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D,E	D,E	(地) (雷)	D,E	開、閉、停が的確に作動すること。		
表示灯	b	表示灯	ランプテスト		前	D,E	D,E	(地) (雷)	D,E	点灯すること。			
	c	盤内蛍光灯	点灯、球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。			

機側操作盤(利水放流設備)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器 …… ○
- \*2 機能上著しく影響あり …… a  
機能上影響あり …… b  
機能上影響なし …… c
- \*3 点検 E：目視、M：測定、H：触診・指触  
S：聴診・聴覚、D：動作確認、W：分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある …… ○
- \*5 点検条件 ……前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う …… ○  
地震時のみ ……(地)  
落雷時のみ ……(雷)  
洪水時のみ ……(洪)
- \*7 整備 A：調整、X：交換、U：補給
- \*8 G：良好あるいは異常なし  
N：異常(要処置(保全整備))  
-：内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		機側操作盤(利水放流設備)				機側操作盤							
設備に要求される機能		水門扉の確実な制御ができること。											
装置区分	点検・整備		点 検 *3						判定	備 考			
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期				*6 臨時	総 合	
							月点検	年点検					
開度指示計		b	開度指示計	指示		中		D,E,M	(地)	D,E,M	実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること。セルソン式は発信器の指示値に反応していること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
		b	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		
	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整、スパン調整および動作確認(精度確認)		前		D,E,M	(地) (雷)	D,E,M	校正器により測定し、±1.0% F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D,E	(地) (雷)	D,E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
				端子のゆるみ		断		E,H	(地)	E,H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。		
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみがないこと。		
配管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと。		

機側操作盤(充水装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器 ……○
- \*2 機能上著しく影響あり ……a  
機能上影響あり ……b  
機能上影響なし ……c
- \*3 点検 E:目視、M:測定、H:触診・指触  
S:聴診・聴覚、D:動作確認、W:分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある ……○
- \*5 点検条件 ……前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う ……○  
地震時のみ ……(地)  
落雷時のみ ……(雷)  
洪水時のみ ……(洪)
- \*7 整備 A:調整、X:交換、U:補給
- \*8 G:良好あるいは異常なし  
N:異常(要処置(保全整備))  
-:内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		機側操作盤(充水装置)				機側操作盤							
設備に要求される機能		水門扉の確実な制御ができること。											
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	点検 *3				*8 判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響能 度に対 する				定期	不定期	*6 臨 時 合				判定方法	
								月 点 検	年 点 検				総 時 合
全般	盤	b	清掃状態		前	E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。				
		b	破損		前	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。				
		b	塗装状況		前	E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。				
		b	内部乾燥状態		前	E,H		E,H	乾燥していること。				
		a	絶縁抵抗	○	断	M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。				
	機器、計器類共通	a	汚れ		前	E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。				
		a	変色		前	E	(地) (雷)	E	変色がないこと。				
		a	端子のゆるみ		断	E,H	(地) (雷)	E,H	端子のゆるみがないこと。				
		a	異常音		中	S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。				
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認				前	E		E	ゲート停止時に0点を指していること。					
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。			
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
				異常音		前	S	D,S	(地) (雷)	D,S	異常音、振動がないこと。		
				接点		前	D,E	(地) (雷)	D,E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
	○	a	漏電継電器	作動テスト		中	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
	b	避雷器	ランプテスト		前	E	E,H	(地) (雷)	E,H	正常に点灯すること、ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ(サーモスイッチ)	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D,S, E	(地) (雷)	D,S, E	異常音、振動がないこと。		
				異常音		中	S	D,S, H	(地) (雷)	D,S	異常音がないこと。		
	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			
			設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。				
タイマー	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
押釦	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D,E	D,E	(地) (雷)	D,E	開、閉、停が的確に作動すること。		
表示灯	b	表示灯	ランプテスト		前	D,E	D,E	(地) (雷)	D,E	点灯すること。			
	c	盤内蛍光灯	点灯、球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。			

機側操作盤(充水装置)

点検記録表

点検区分	年点検	実施日
------	-----	-----

- \*1 重要機器 ……○
- \*2 機能上著しく影響あり …… a  
機能上影響あり …… b  
機能上影響なし …… c
- \*3 点検 E : 目視、M : 測定、H : 触診・指触  
S : 聴診・聴覚、D : 動作確認、W : 分解
- \*4 トレンド管理をする必要がある ……○
- \*5 点検条件 ……前、中、後、休、断  
有水、無水
- \*6 臨時点検 全て行う ……○  
地震時のみ ……(地)  
落雷時のみ ……(雷)  
洪水時のみ ……(洪)
- \*7 整備 A : 調整、X : 交換、U : 補給
- \*8 G : 良好あるいは異常なし  
N : 異常(要処置(保全整備))  
- : 内容の実施なし  
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		機側操作盤(充水装置)				機側操作盤							
設備に要求される機能		水門扉の確実な制御ができること。											
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	*8 判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					月 点 検	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
									(地)	(雷)			
開度指示計		b	開度指示計	指示		中		D,E M	(地)	D,E M	実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に反応していること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカ推奨範囲以内であること。		
		b	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		
	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D,E	(地) (雷)	D,E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整、スパン調整 および動作確認 (精度確認)		前		D,E, M	(地) (雷)	D,E, M	校正器により測定し、±1.0% F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D,E	(地) (雷)	D,E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
配 線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
				端子のゆるみ		断		E,H	(地)	E,H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。		
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落		前		E,H	(地)	E,H	ゆるみがないこと。		
配 管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと。		